



2025年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年3月13日

上場会社名 グローバルスタイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 7126 URL <https://www.global-style.jp/corporate/company/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田城 弘志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名本 育広 TEL 06-6206-2711
半期報告書提出予定日 2025年3月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第2四半期（中間期）の業績（2024年8月1日～2025年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期中間期	5,485	7.3	357	233.2	376	186.5	222	177.8
2024年7月期中間期	5,113	9.3	107	△32.7	131	△26.2	80	△51.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期中間期	67.19	66.17
2024年7月期中間期	24.96	24.00

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期中間期	8,700	2,597	29.9
2024年7月期	7,512	2,455	32.7

(参考) 自己資本 2025年7月期中間期 2,597百万円 2024年7月期 2,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2025年7月期	-	0.00	-	-	-
2025年7月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定です。

3. 2025年7月期の業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,877	6.4	710	12.7	735	11.9	487	9.7	146.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年7月期中間期	3,502,744株	2024年7月期	3,502,744株
2025年7月期中間期	174,538株	2024年7月期	189,238株
2025年7月期中間期	3,318,295株	2024年7月期中間期	3,216,468株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会に関する説明）

本第2四半期（中間期）決算短信の開示日時点においては、2025年3月18日（火）に機関投資家・アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料等は、当社のウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や円安に伴うインバウンド需要の増加、輸出関連企業を中心とした好業績に支えられ緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格の高騰や物価上昇、中国経済の減速懸念、アメリカの今後の政策動向等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するオーダースーツ業界におきましても、円安による商品原価への影響は大きく、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、「Enjoy Order すべてのお客様にオーダーメイドを楽しんでいただく」のコンセプトのもと、新業態を含めた新規出店や新たなオーダー商品の開発に取り組んでまいりました。

まず、当中間会計期間における新規出店といたしましては、9月に「GINZA Global Style COMFORT 枚方モール店」と新業態として初出店となる「Premium Marunouchi 本店」を出店し、年明け1月には「GINZA Global Style COMFORT COCOSA熊本店」を出店いたしました。

また、経営効率の向上を目的とした店舗統合も行い、「GINZA Global Style 京都三条通り店」を「GINZA Global Style 京都四条店」に、「TANGOYA 熊本シャワー通り店」を「GINZA Global Style COMFORT COCOSA熊本店」に統合いたしました。

上記の新規出店及び店舗統合を行った結果、当中間会計期間末の店舗数は39店舗となりました。

新業態である「Premium Marunouchi」の特徴といたしましては、従来のオーダーメニューに加えて、新オーダー商品である「カイザープレミアム」をご注文いただける点であります。「カイザープレミアム」は、グローバルスタイルの誇る最高級グレード「カイザーモデル」をベースに肩や袖、上衿などの重要な部分にハンドメイドの縫製テクニックを融合して究極の着心地を追求したプレミアムラインであり、当モデルをオーダーメニューに加えることで、より嗜好性の高いお客様の開拓にも取り組んでまいりたいと考えております。

以上のような取り組みの結果、売上高につきましては、54億85百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、上記3店舗の新規出店に伴い、人件費や地代家賃等の経費が増加したことから27億13百万円（同2.2%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益3億57百万円（前年同期比233.2%増）、経常利益3億76百万円（前年同期比186.5%増）、法人税等△1億25百万円を計上した結果、中間純利益2億22百万円（前年同期比177.8%増）となりました。

なお、当社はオーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ11億87百万円増加し、87億円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末に比べ11億37百万円増加し、49億47百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が4億61百万円、原材料及び貯蔵品が3億42百万円、売掛金が2億22百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産につきましては、新規出店により前事業年度末に比べ50百万円増加し、37億52百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ10億45百万円増加し、61億2百万円となりました。

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ11億36百万円増加し、48億19百万円となりました。主な変動要因は、短期借入金が2億50百万円、前受金が4億18百万円、買掛金が4億11百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前事業年度末に比べ90百万円減少し、12億82百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が77百万円、固定負債のその他が15百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ1億41百万円増加し、25億97百万円となりました。主な変動要因は、前期の期末配当99百万円を実施した一方で、中間純利益2億22百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ4億61百万円増加し、13億62百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億2百万円（前年同期は92百万円の支出）となりました。これは、主に税引前中間純利益3億48百万円、仕入債務の増加額4億11百万円、前受金の増加額3億95百万円、減価償却費1億23百万円、その他1億円があったものの、棚卸資産の増加額4億19百万円、売上債権の増加額2億22百万円、法人税等の支払額1億6百万円等の要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億65百万円（前年同期は2億70百万円の支出）となりました。これは、主に投資

不動産の賃貸による収入41百万円及び敷金の回収による収入29百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出2億9百万円、敷金の差入による支出17百万円等の要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は23百万円（前年同期は4億48百万円の収入）となりました。これは、主に短期借入金純増加額2億50百万円があったものの、長期借入金の返済による支出77百万円、リース債務の返済による支出40百万円、社債の償還による支出10百万円、配当金の支払額99百万円等の要因によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期通期の業績予想につきましては、2024年9月13日の「2024年7月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年7月31日)	当中間会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	901,354	1,362,990
売掛金	313,851	535,896
商品及び製品	204,169	236,748
仕掛品	75,303	119,848
原材料及び貯蔵品	2,220,559	2,563,312
その他	105,274	141,424
貸倒引当金	△10,417	△12,788
流動資産合計	3,810,095	4,947,433
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,603,423	1,658,921
その他（純額）	1,016,485	1,031,855
有形固定資産合計	2,619,909	2,690,777
無形固定資産	108,496	107,565
投資その他の資産	973,853	954,267
固定資産合計	3,702,259	3,752,610
資産合計	7,512,354	8,700,043
負債の部		
流動負債		
買掛金	340,359	751,519
短期借入金	1,850,000	2,100,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	155,096	155,096
未払法人税等	106,792	122,275
契約負債	200,202	201,532
前受金	579,226	997,441
賞与引当金	-	7,575
その他	431,753	464,392
流動負債合計	3,683,431	4,819,832
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	891,054	813,506
退職給付引当金	52,888	56,372
資産除去債務	229,032	238,191
その他	170,354	154,579
固定負債合計	1,373,329	1,282,649
負債合計	5,056,761	6,102,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	114,843	126,190
利益剰余金	2,355,241	2,478,781
自己株式	△94,772	△87,410
株主資本合計	2,455,313	2,597,561
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	280	-
評価・換算差額等合計	280	-
純資産合計	2,455,593	2,597,561
負債純資産合計	7,512,354	8,700,043

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)	当中間会計期間 (自2024年8月1日 至2025年1月31日)
売上高	5,113,229	5,485,674
売上原価	2,350,473	2,414,562
売上総利益	2,762,756	3,071,111
販売費及び一般管理費	2,655,337	2,713,190
営業利益	107,418	357,921
営業外収益		
受取利息	7	120
受取配当金	76	76
為替差益	186	1,034
賃貸料収入	40,755	42,074
物品売却収入	5,879	5,779
その他	4,657	1,341
営業外収益合計	51,563	50,427
営業外費用		
支払利息	11,451	15,947
賃貸収入原価	12,310	12,571
物品購入費用	3,220	2,954
その他	738	767
営業外費用合計	27,720	32,240
経常利益	131,261	376,107
特別利益		
資産除去債務戻入益	-	7,010
特別利益合計	-	7,010
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	-	27,280
事務所移転費用	-	7,240
特別損失合計	-	34,520
税引前中間純利益	131,261	348,597
法人税、住民税及び事業税	49,267	122,309
法人税等調整額	1,726	3,343
法人税等合計	50,994	125,652
中間純利益	80,267	222,944

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)	当中間会計期間 (自2024年8月1日 至2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	131,261	348,597
減価償却費	113,283	123,564
減損損失	-	27,280
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,583	2,370
受取利息及び受取配当金	△83	△196
支払利息	11,451	15,947
固定資産除却損	-	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△241,066	△222,045
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△668,081	△419,876
前渡金の増減額 (△は増加)	147,916	△1,904
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,262	411,160
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,397	△48,098
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△46,046	-
前受金の増減額 (△は減少)	571,737	395,311
その他	△41,728	100,719
小計	27,091	732,827
利息及び配当金の受取額	83	196
利息の支払額	△11,617	△16,410
移転費用の支払額	-	△7,240
法人税等の支払額	△107,739	△106,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	△92,181	602,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△268,099	△209,529
無形固定資産の取得による支出	△3,458	△2,939
敷金の差入による支出	△34,833	△17,169
敷金の回収による収入	362	29,647
投資不動産の賃貸による支出	△5,250	△5,797
投資不動産の賃貸による収入	40,714	41,807
その他	105	△1,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,459	△165,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	250,000
長期借入れによる収入	192,000	-
長期借入金の返済による支出	△67,986	△77,548
社債の償還による支出	△30,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△52,175	△40,061
自己株式の処分による収入	1,879	104
配当金の支払額	△95,075	△99,285
その他	△44	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	448,597	23,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	266	892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,222	461,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,107,230	901,354
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,193,453	1,362,990

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社は、オーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。